

ネイティブペニシリウム・シトリヌムヌクレアーゼ P1

Cat. No. NATE-0491

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	ペニシリウム・シトリヌム由来のヌクレアーゼ P1 は、亜鉛依存性のエンドヌクレアーゼであり、低濃度の尿素の存在下で活性が向上します。
用途	ペニシリウム・シトリヌム由来のヌクレアーゼ P1 は、硫酸アンモニウムまたはポリエチレングリコール 4000 を沈殿剤として使用して結晶構造を評価する研究に使用されました。また、5' または 3' 末端グループラベル RNA のテリミニから 20-25 ヌクレオチドの直接配列分析の方法を調べる研究にも使用されました。ヌクレアーゼ P1 は、DNA 付加物の除去のための 32P 標識法の感度を向上させるために使用されます。この酵素の最適温度は約 70°C ですが、長時間のインキュベーションには 60°C 未満の温度がより適しています。pH 範囲は 5-8 で安定しています。
別名	エンドヌクレアーゼ P1; EC 3.1.30.1; 54576-84-0; ヌクレアーゼ P1; P1 ヌクレアーゼ

製品情報

由来	ペニシリウム・シトリヌム
形態	凍結乾燥粉末
EC 番号	EC 3.1.30.1
CAS 登録番号	54576-84-0
分子量	42-50 kDa
活性	> 200 ユニット/mg タンパク質 (E1%/280, 3'-5'-ホスホジエステラーゼ)
単位定義	3'-5'-ホスホジエステラーゼ: 1 ユニットは、pH 5.3、37°C で RNA から 1.0 μmole の酸溶性ヌクレオチドを 1 分あたり放出します。3'-ヌクレオチダーゼ: 1 ユニットは、pH 7.2、37°C で 3'-AMP から 1.0 μmole のオルトリン酸を 1 分あたり加水分解します。

使用法とパッケージング

包装	RNA 基質を使用した > 250 ユニットのバイアル
----	-----------------------------

保管・発送情報

保存方法	2-8°C
------	-------